【資料2】

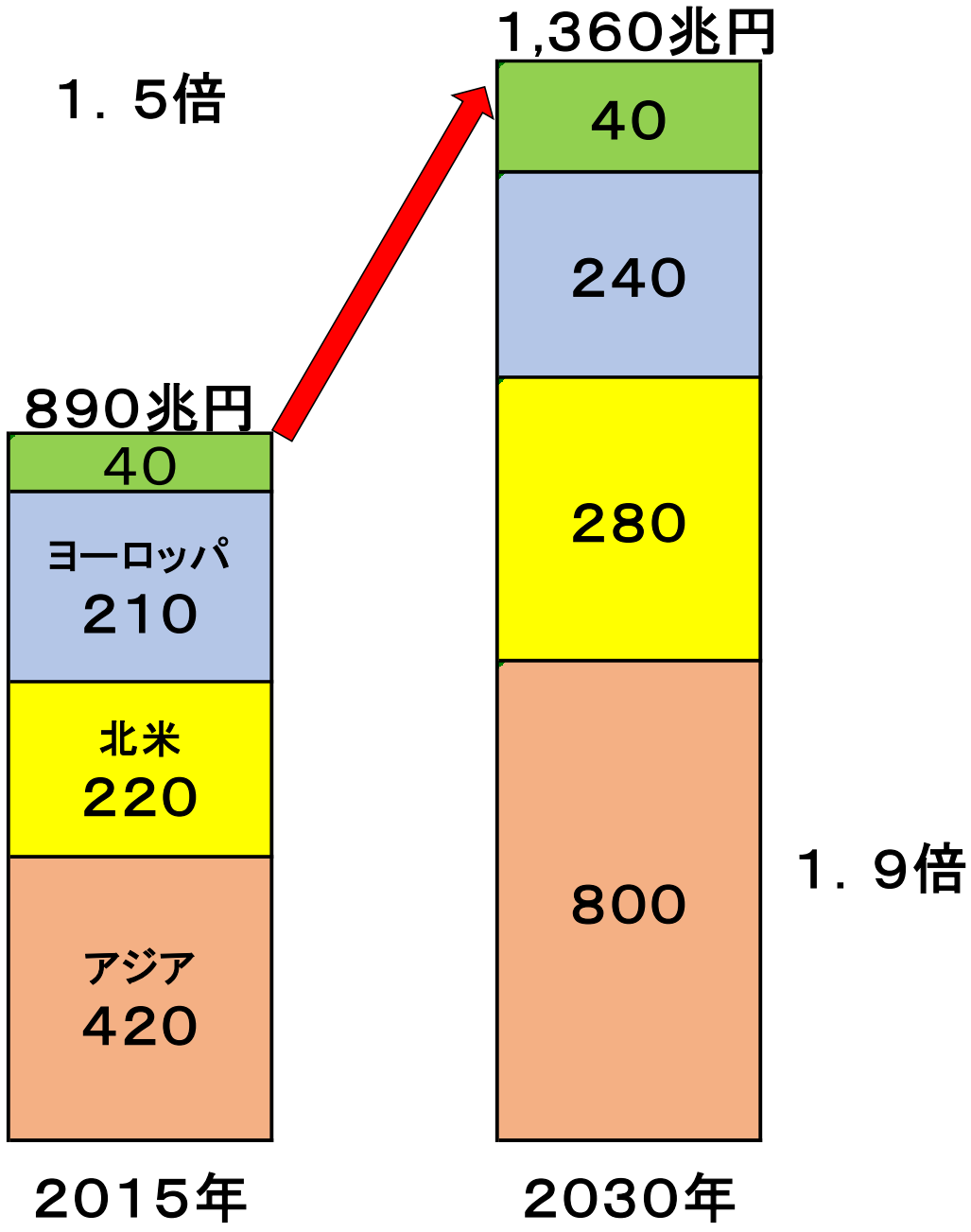
1億人ではなく、
100億人を見据えた
農林水産業へ。

GFP
農林水産物・食品
輸出プロジェクト

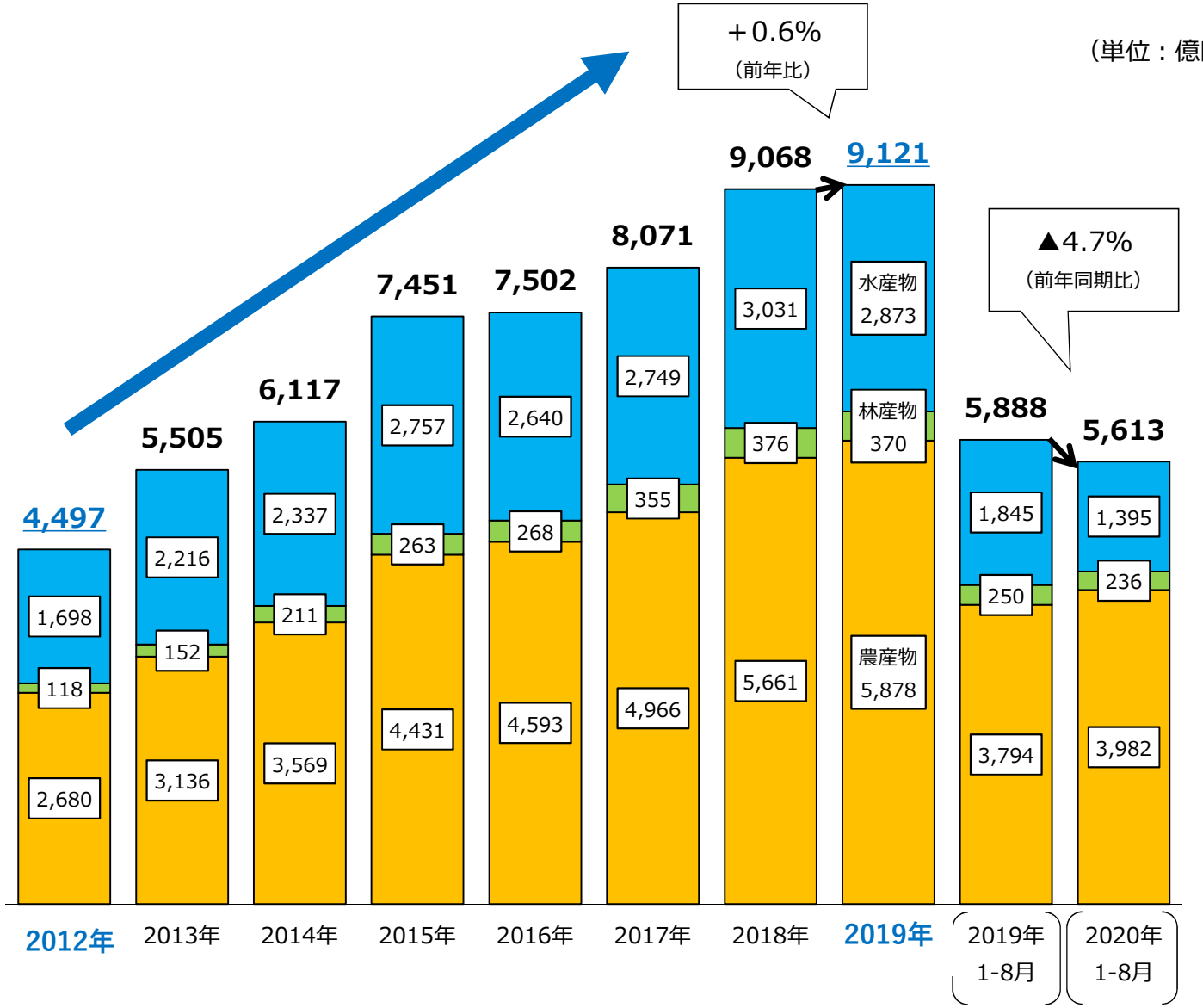
あなたを、
生産者の日本代表にしたい。

四季の豊かなこの国で、だれかを喜ばせたい一心で取り組む生産者のみなさんへ。
海外各国からのニーズが大きくなっている今、みなさんと輸出の成功事例をつくっていきたい。このコミュニティにぜひ参加して第一歩を踏み出しませんか。農林水産省が全力でサポートします。

＜拡大する世界市場＞


1,360兆円
1．5倍
40
240
890兆円
280
40
ヨーロッパ
210
北米
220
800
1．9倍
アジア
420
2015年
2030年

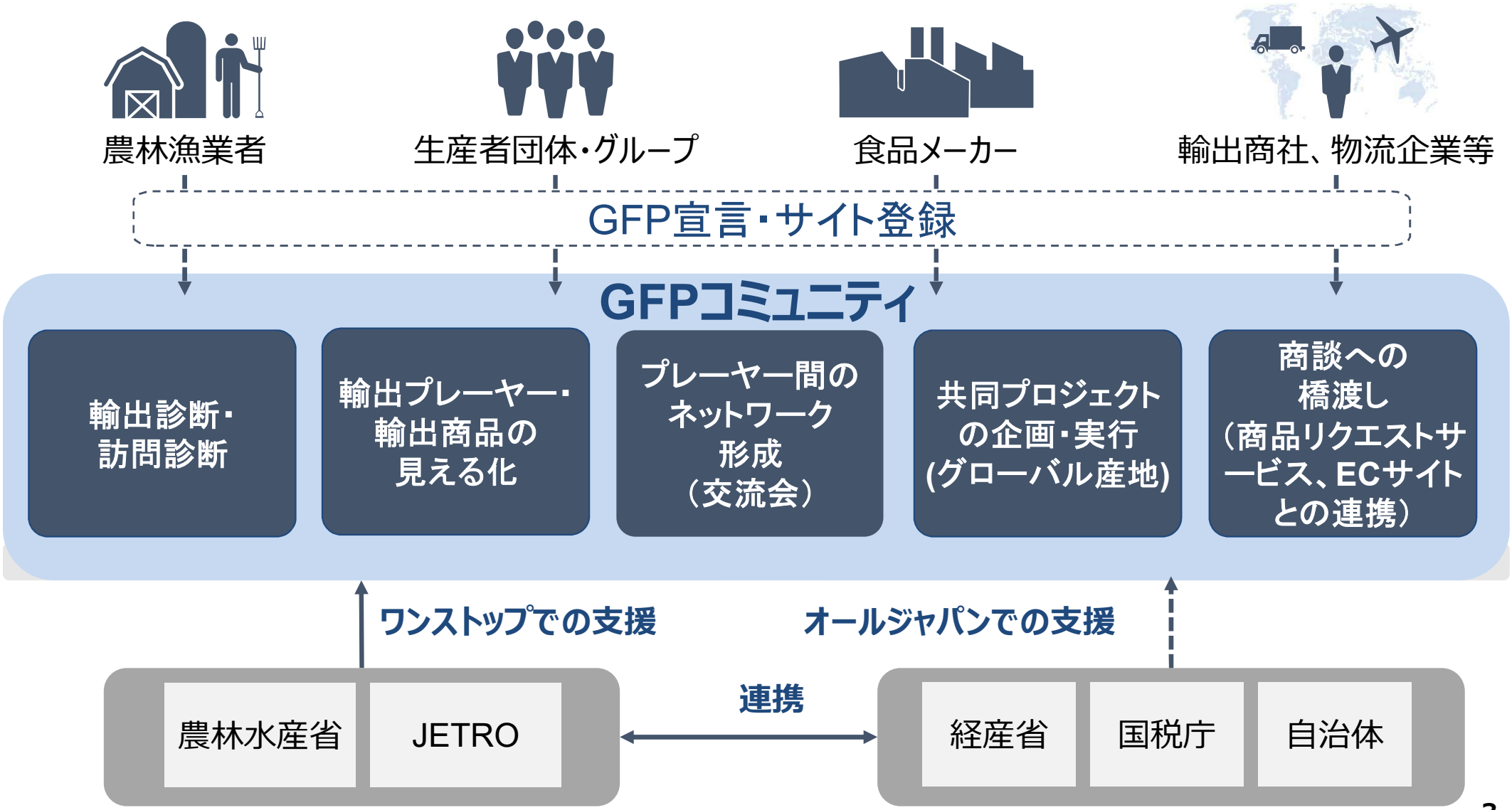
農林水産物・食品 輸出額の推移



財務省「貿易統計」を基に農林水産省作成

GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）について

- 輸出診断を中心に取組を推進。
- 輸出商品の見える化・共同プロジェクトの実行等も展開予定。



農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP)の取組

○**GFP(ジー・エフ・ピー)**とは、 Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project の略称であり、農林水産省が推進する**日本の農林水産物・食品の輸出プロジェクト**。

○**平成30年8月31日**に農林水産物・食品の輸出を意欲的に取り組もうとする生産者・事業者等のサポートと連携を図る**「ＧＦＰコミュニティサイト」を立ち上げ**。

○当該サイトに登録した者を対象に、**農林水産省がジェトロ、輸出の専門家とともに産地に直接出向いて「輸出の可能性」を無料で診断する「輸出診断」**を平成30年10月より開始。

GFP登録者へのサービス提供

○**農林漁業者・食品事業者へのサービス**

- **専門家による無料の輸出診断**
- **GFPコミュニティサイト**で事業者同士が直接**マッチング**
- 輸出商社の「商品リクエスト情報」の提供
- 輸出希望商品の**輸出商社への紹介**
- 輸出のための**産地づくりの計画策定の支援**
- メンバー同士の交流イベントの参加
- **規制情報等**の輸出に関連する**情報の提供**

○**輸出商社・バイヤー・物流企業へのサービス**

- **GFPコミュニティサイト**で事業者同士が直接**マッチング**
- 生産者・製造業者が作成する「商品シート」の提供
- 「商品リクエスト」の全国の生産者・製造業者への発信
- メンバー同士の**交流イベントの参加**
- **規制情報等**の輸出に関連する**情報の提供**

GFPの登録状況（９月末時点）

GFP登録者数

区分	登録者数
農林水産物食品事業者	2,163
流通事業者、物流事業者	1,546
合計	3,709

輸出診断申込状況

区分		
輸出診断申込数		1,316
	うち訪問診断希望者	809
訪問診断完了数		372

GFPの取組の実績

- 輸出診断、交流イベント等を通して、意欲ある事業者を支援を行う。
- GFP登録者は順調に増加し、メディア露出・認知度も高まっている。

3,709社

輸出診断	809件 (訪問372件)	• 農林水産省及びジェトロ、輸出の専門家とともに、生産現場等に直接出向いて「輸出の可能性」を無料で診断
イベント (ＧＦＰ超会議、 セミナー、オンラインセミナー等)	５カ所＋α (東京、鹿児島、北海道、大阪、福島)	• 大手バイヤーや現地専門家を招聘してのセミナーや商談会、GFP超会議交流会等を開催。コロナ禍においてはオンラインセミナー等を実施。
“見える化”	3,709社	• GFPサイト上で、登録メンバーの見える化 • メンバー同士がサイト上で自由にやりとり可能なプラットフォームを整備
グローバル産地	63件	• 輸出向けの産地を目指す「グローバル産地づくり推進事業」を全国で採択。

GFPの取組の実績　～輸出診断・フォローアップ　実績例～

【輸出診断フォローアップ事例：水産加工事業者】

　輸出診断の際、海外向けの商品開発や海外でのプロモーション等で苦労している旨話があった。輸出診断後のフォローアップとして、海外で日本産品を活用し展開するトッププレーヤーを交え、本事業者との意見交換及びマッチング等を実施。

○ 日本から水産物を輸入し、ECサイト等で消費者向けに販売する現地輸入商社とのオンライン商談会を実施。
　→ **見積とサンプルを送り、輸入商社が業務用スーパーなどに商品を配布し顧客の反応確認に全面的に協力。**

○ 国内のみならず、世界各国で飲食店を展開する事業者との商品開発や海外展開に係る意見交換等を実施。
　→ **事業者より商品の付加価値を付けるためのアドバイスを受けるとともに、米国等で水産加工食品のプロモーションを事業者と連携して今後実施。**

○ 海外で外食店を運営する現地のディストリビューターと対面による商談会を実施。
　→ **GFP登録事業者の商品を当該ディストリビューターの次回品評会の商品リストに登録。**

海外の輸入商社とオンライン商談会

海外の外食店による商品開発の意見交換

現地ディストリビューターとの商談会

GFP登録者への情報提供

- 規制や補助金等の輸出に関わる有益な情報の**メール**発信
- **GFP公式Facebook**ページや**YOUTUBEチャンネル**を立ち上げ、日々の活動情報やイベント情報などの発信

メルマガによる情報発信

Facebook

YOUTUBE

GFPによる支援①　GFPデジタルカタログ（フォローアップ）

事業者の情報を基に、商談資料を作成します！

作成後、GFPサイトに掲載・データ原案のお渡しをします！

GFPによる支援②　GFPコミュニティサイト

GFP会員向けサイトで輸出商社と繋がれます！

Global Project

あなたを、
生産者の日本代表にしたい。

うつろう四季の豊かな自然。脈々と受け継がれる伝統。そして、だれかを喜ばせたい一心で日々取り組む、生産者のみなさん。当たり前のように接している日本の農林水産物や食品は、世界に誇れる特別な普通なのです。海外各国からのニーズが大きくなっている今、まずは熱意ある生産者とともに、輸出の成功事例をつくっていきたい。意欲ある方は、このコミュニティにぜひ参加して第一歩を踏み出しませんか。農林水産省が全力でサポートします。

自社マイページでのPR、輸出商社とのコンタクトが可能。

GFPによる支援③　イベントへの参加
オンラインを活用しながら、イベント継続してます！

GFPオンラインセミナー

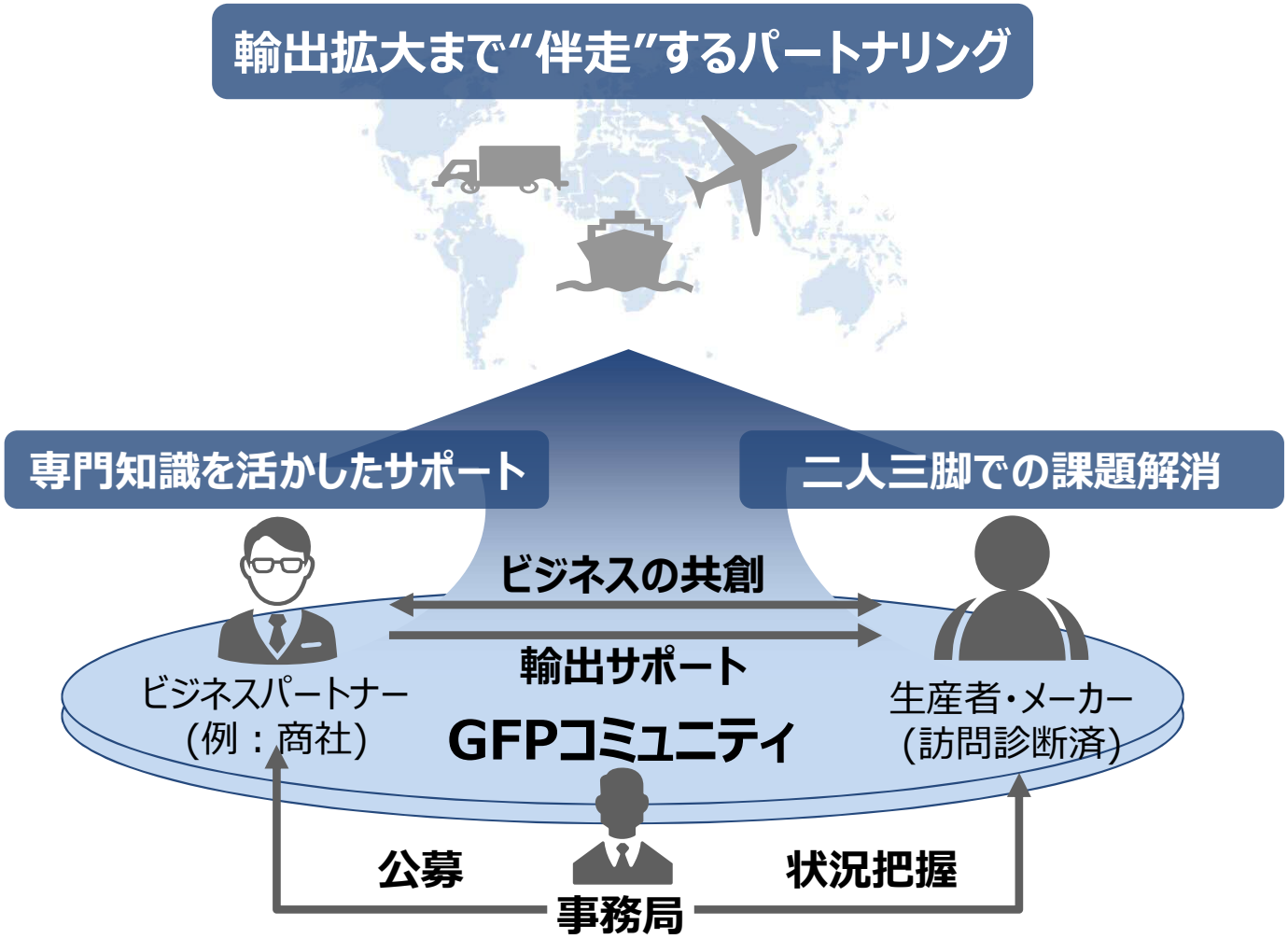
- 6/11、7/29にZoomを活用したオンラインセミナーを実施
- 累積1,300の視聴者数を集め、視聴者満足度は100%を達成

GFPビジネスマッチング

- 4/23：九州、7/29：関東を拠点に商社と生産者・メーカーの商談会を実施(Teams使用)
- サンプル送付等も行うことで、オフラインと変わらない商談が実現

GFPによる支援④　ビジネスパートナーマッチング

輸出知見豊富な事業者から、直接アドバイス！



初回ミーティングの様子(商社×事業者)

GFP事務局による進行の様子

輸出の悩み・課題をきめ細やかにサポート致します！

交流会の開催

- 全国各地でGFPのイベント・セミナー・商談会を開催し、全てのイベントにおいて、**100人以上の登録者が参加。**
- 今後も**全国各地でセミナー、交流会等のイベント**を開催予定。

- 参加者によるワークショップ
- 輸出事例紹介
- 輸出商社・物流企業等との意見交換
- ニコニコ動画での同時中継
- 現地マーケット情報セミナー　　等

GFP輸出商社等ビジネス拡大支援事業

【令和３年度予算概算要求額　５（-）億円】

○ **課題**：現在の輸出ビジネスの多くは、国内需要向けに生産した余剰品を、輸出事業者を介して販売できるところに販売するものとなっており、海外市場の具体的なニーズに対応した輸出ビジネスが構築されているケースが極めて少ない状況。

○ **取組**：海外の需要開拓や、生産・流通・加工・販売をつなぐサプライチェーンビジネスに精通している輸出事業者が、新たな輸出ビジネスを企画し、拡大を図る場合に、その活動を支援。

１．事業内容

（１）**事業実施主体**：GFPに登録している輸出事業者（輸出商社、小売業者、食品製造事業者　等）

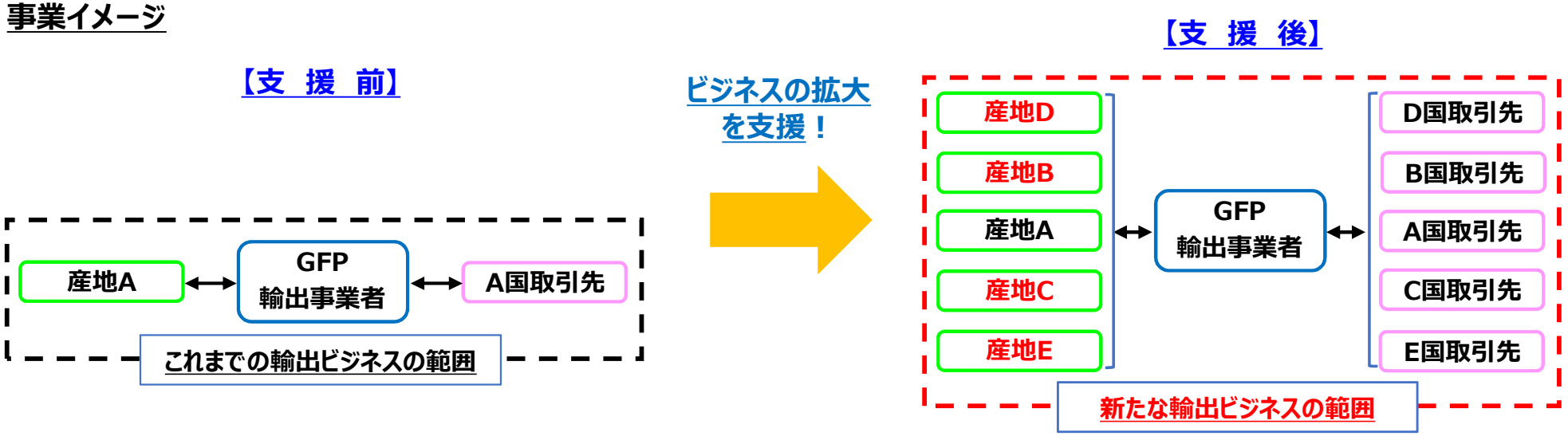
（２）**支　援　内　容**：輸出事業者等を基点とした産地間連携、ITを活用した産地から海外までをつなぐ取引システムの構築など、様々なタイプの新たな輸出ビジネスを創出し、具体的に進めるための経費を広く支援

（補助対象経費）海外ニーズ等調査費、商談会経費、海外バイヤー招聘費、輸送費、新商品開発費、宣伝・販促費、機械装置・システム構築費、技術導入費、専門家経費、原材料費、外注費、知的財産権等関連経費、海外旅費　等

２．事業の流れ

農林水産省 → 定額 → 事業実施事務局（民間団体等） → 1／2以内 → 事業実施主体（民間団体等）

３．事業イメージ



GFPグローバル産地づくり推進事業

【令和３年度予算概算要求額　６（３）億円】

平成30年８月末に立ち上げた「農林水産物・食品輸出プロジェクト」（GFP）を推進するため、**GFPグローバル産地形成に必要な計画の策定と実施に対する支援**及び**関連するハード・ソフト事業における優先採択等**により、輸出先国のニーズや規制等に対応した**グローバル産地の形成を図ります。**

＜事業の内容＞ ※ 内容の詳細は変更されることがあります。

1　支援内容

相手国のニーズや規制等に対応したGFPグローバル産地の形成を進めるため、計画策定、生産・加工体制の構築、事業効果の検証・改善などの取組を支援します。

※計画期間は３年以内とし、生産・加工段階での取組を柱に、流通段階のテスト輸送・販売などの取組も支援します。

※都道府県をまたぐ産地間が連携して形成する産地も対象となります。

2　事業実施主体（助成対象者）

農林漁業者や食品製造加工事業者等を含む３者以上の連携体、協議会、農協、商工会議所、都道府県、市町村等

※品目や地域の実態に合わせた多様な体制で取り組むことができます。

※都道府県を通じて支援します。

※輸出に知見のある者が何らかの形で関与する体制をとる必要があります。

3　補助率　定額

4　関連事業（優先採択等の措置を実施）

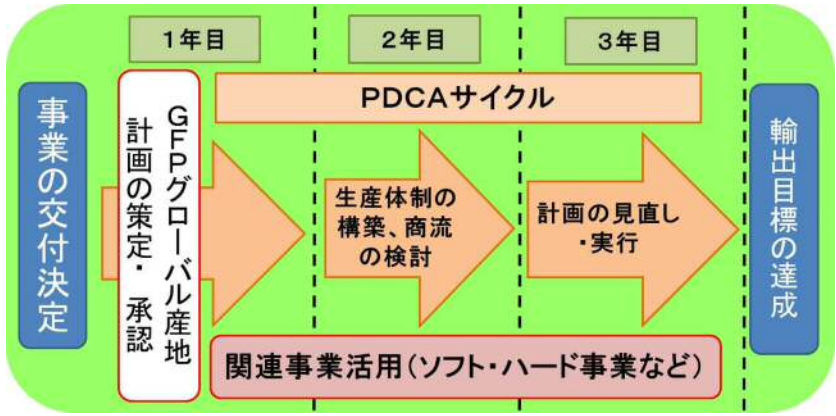
（関連事業は各事業の仕組みで実施）

・強い農業・担い手づくり総合支援交付金　・食料産業・6次産業化交付金
・水産基盤整備事業　　・浜の活力再生・成長促進交付金　等

※グローバル事業を活用せずに、グローバル産地計画の承認を得て、関連事業の優先採択等を活用することもできます。

※関連事業の活用例：青果物の長期保存技術の導入、輸出向け機械・施設の整備、HACCP等対応の施設改修・導入、輸出に必要な認証取得支援　等

＜事業イメージ＞



ＧＦＰグローバル産地のイメージ

ベトナム輸出対策済みナシ畑

EU輸出対策済み棚上げ盆栽

オーガニック茶畑

対米・EU向け牛肉加工施設

［お問い合わせ先］　食料産業局海外市場開拓食文化課農林水産物・食品輸出プロジェクト（GFP）室　（03-6744-7172）

令和2年度 GFPグローバル産地づくり推進事業 採択産地

（令和2年8月末現在）

中国四国ブロック（9産地）			
37	岡山県	全農岡山県本部	桃、ぶどう
38	徳島県	(株)農家ソムリエーず	かんしょ・加工品
39		(株)阪東食品	かんきつ果汁
40		西地食品(有)	かんきつ果汁
41		徳島魚市場(株)	鮮魚
42	愛媛県	えひめ愛フード推進機構	盆栽
43		愛南漁業協同組合	マダイ、他
44		愛媛県	スマ
45	高知県	JA高知市三里園芸部	花（グロリオサ）

九州ブロック（18産地）			
46	福岡県	九州農産物通商(株)	柿
47	佐賀県	うれしの茶グローバル産地協議会	茶
48	長崎県	(株)アグリ・コーポレーション	かんしょ・加工品
49		対馬水産(株)	穴子
50	熊本県	くまもと農業成長産業協同組合	青紫蘇・加工品
51		(株)イチゴラス	いちご
52	宮崎県	みやざき『食と農』海外輸出促進協議会	きんかん
53		(株)くしまアオイファーム	かんしょ
54		宮崎県漁業協同組合連合会	ぶりフィレ
55		(株)ミヤチク	牛肉
56		ジャパンキャビア(株)	キャビア
57		みやざき地頭鶏事業協同組合	鶏肉
58		(株)かぐらの里	ゆず加工品
59		(株)高千穂ムラたび	甘酒、米菓
60	鹿児島県	鹿児島県経済連	抹茶
61		鹿児島県経済連	きんかん
62		鹿児島県経済連	かんしょ
63		鹿児島堀口製茶(有)	茶

北陸ブロック（4産地）			
27	新潟県	新発田市米輸出促進協議会	米
28	富山県	(有)グリーンパワーなのはな	米・米加工品
29	福井県	(株)エコファームみかた	梅酒
30		(株)アジチファーム	米加工品

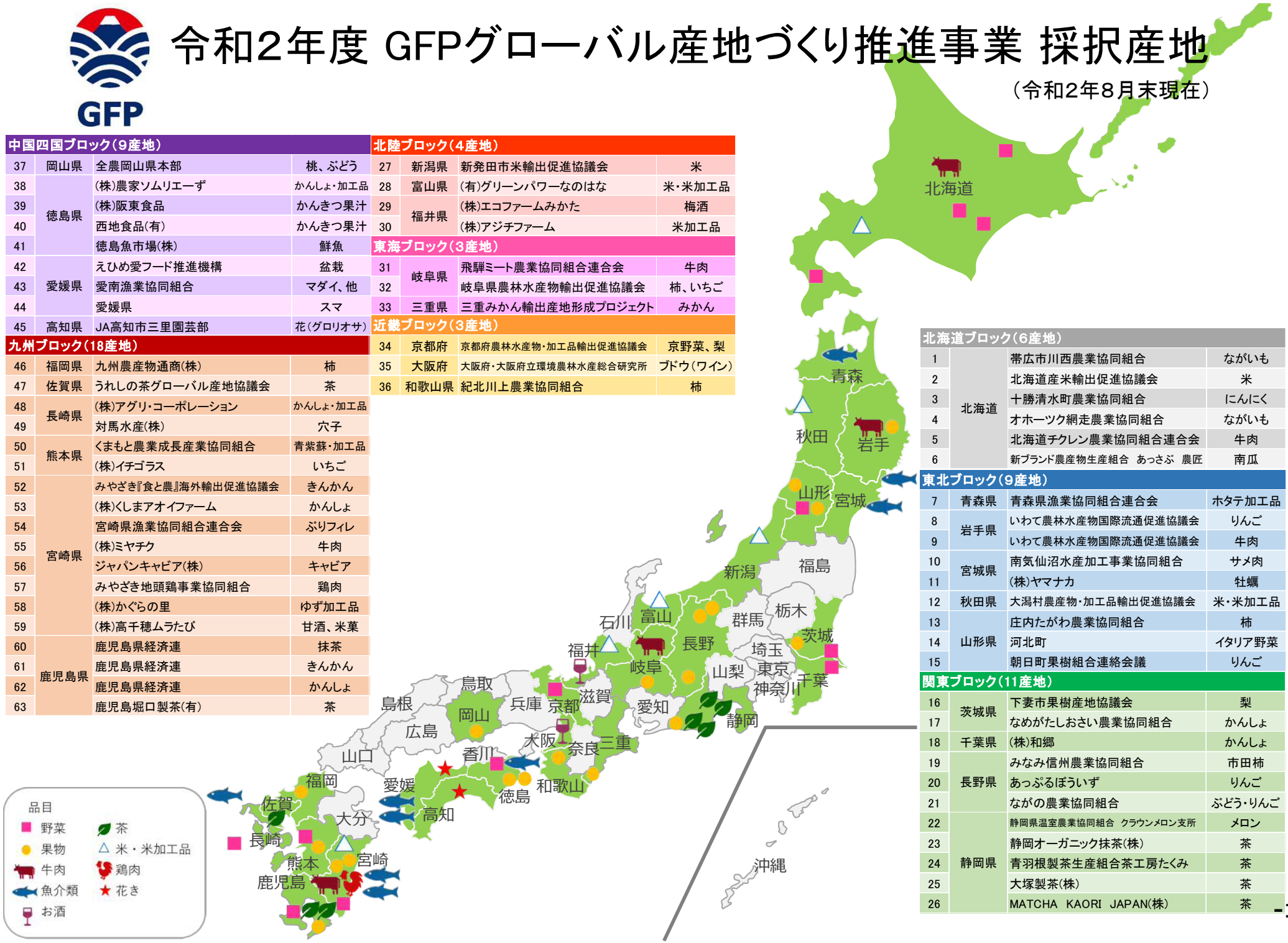
東海ブロック（3産地）			
31	岐阜県	飛騨ミート農業協同組合連合会	牛肉
32		岐阜県農林水産物輸出促進協議会	柿、いちご
33	三重県	三重みかん輸出産地形成プロジェクト	みかん

近畿ブロック（3産地）			
34	京都府	京都府農林水産物・加工品輸出促進協議会	京野菜、梨
35	大阪府	大阪府・大阪府立環境農林水産総合研究所	ブドウ（ワイン）
36	和歌山県	紀北川上農業協同組合	柿

北海道ブロック（6産地）			
1	北海道	帯広市川西農業協同組合	ながいも
2		北海道産米輸出促進協議会	米
3		十勝清水町農業協同組合	にんにく
4		オホーツク網走農業協同組合	ながいも
5		北海道チクレン農業協同組合連合会	牛肉
6		新ブランド農産物生産組合　あっさぶ　農匠	南瓜

東北ブロック（9産地）			
7	青森県	青森県漁業協同組合連合会	ホタテ加工品
8	岩手県	いわて農林水産物国際流通促進協議会	りんご
9		いわて農林水産物国際流通促進協議会	牛肉
10	宮城県	南気仙沼水産加工事業協同組合	サメ肉
11		(株)ヤマナカ	牡蠣
12	秋田県	大潟村農産物・加工品輸出促進協議会	米・米加工品
13	山形県	庄内たがわ農業協同組合	柿
14		河北町	イタリア野菜
15		朝日町果樹組合連絡会議	りんご

関東ブロック（11産地）			
16	茨城県	下妻市果樹産地協議会	梨
17		なめがたしおさい農業協同組合	かんしょ
18	千葉県	(株)和郷	かんしょ
19	長野県	みなみ信州農業協同組合	市田柿
20		あっぷるぼういず	りんご
21		ながの農業協同組合	ぶどう・りんご
22	静岡県	静岡県温室農業協同組合　クラウンメロン支所	メロン
23		静岡オーガニック抹茶(株)	茶
24		青羽根製茶生産組合茶工房たくみ	茶
25		大塚製茶(株)	茶
26		MATCHA　KAORI　JAPAN(株)	茶



５兆円目標の実現に向けた農林水産物・食品の輸出力強化のうち

食品産業の輸出向けHACCP等対応施設の整備

（食料産業・６次産業化交付金において実施）
【令和３年度予算概算要求額　79（15）億円】

＜対策のポイント＞
農林水産物・食品の輸出拡大を図るため、**食品製造事業者**等の**施設の新設**及び**改修**、**機器の整備**を支援します。

＜事業目標＞
農林水産物・食品の輸出額の拡大（２兆円［2025年まで］、５兆円［2030年まで］）

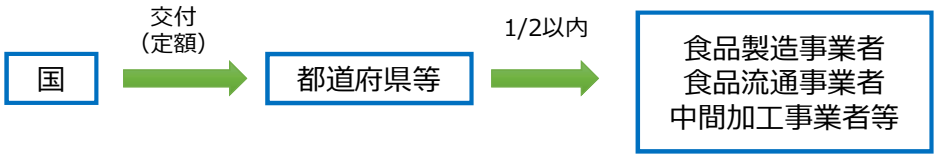
＜事業の内容＞

○　**支援対象となる取組**

① 加工食品等の輸出拡大に必要な**製造・加工、流通等の施設の新設（かかり増し経費）**及び**改修、機器の整備に係る経費**を支援します。
ア HACCP及びISO、FSSC、JFS-C等の規格を満たす施設
イ 輸出先国の規制に適合した製品のための新たな製造ライン
ウ 家庭食向けなど輸出先国のニーズに対応した製品のパッキングのための設備
等

② 施設整備と一体的に行い、その効果を高めるために必要な**コンサル費等の経費**（効果促進事業）を支援します。

＜事業の流れ＞



＜事業イメージ＞

空気を経由した汚染の防止設備（パーティション）の導入

温度管理を要する装置・設備の導入

新たな製造ラインの導入

パッキング設備の導入

［お問い合わせ先］食料産業局輸出先国規制対策課局（03-6744-7184）

輸出力の維持・強化に向けたプロモーション・施設整備等への重点支援のうち

食品等輸出物流ルート確保緊急対策事業（物流ルート確保事業）

【令和２年度補正予算額　20億円】

＜対策のポイント＞

新型コロナウイルス感染拡大による**大幅な旅客便の減便**に伴う**生鮮品物流への影響を緩和**するため、**輸送手段の確保**に係る経費（**航空運賃**、**国内の横持ち経費**等）を支援します。

＜政策目標＞

毀損した輸出商流の維持・拡大

＜事業の内容＞

１．旅客便の復活支援

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、**欠航せざるを得なくなった空路**で、生鮮食品等を輸送する際の**航空運賃**（掛かり増し相当分）**の一部**を支援します。

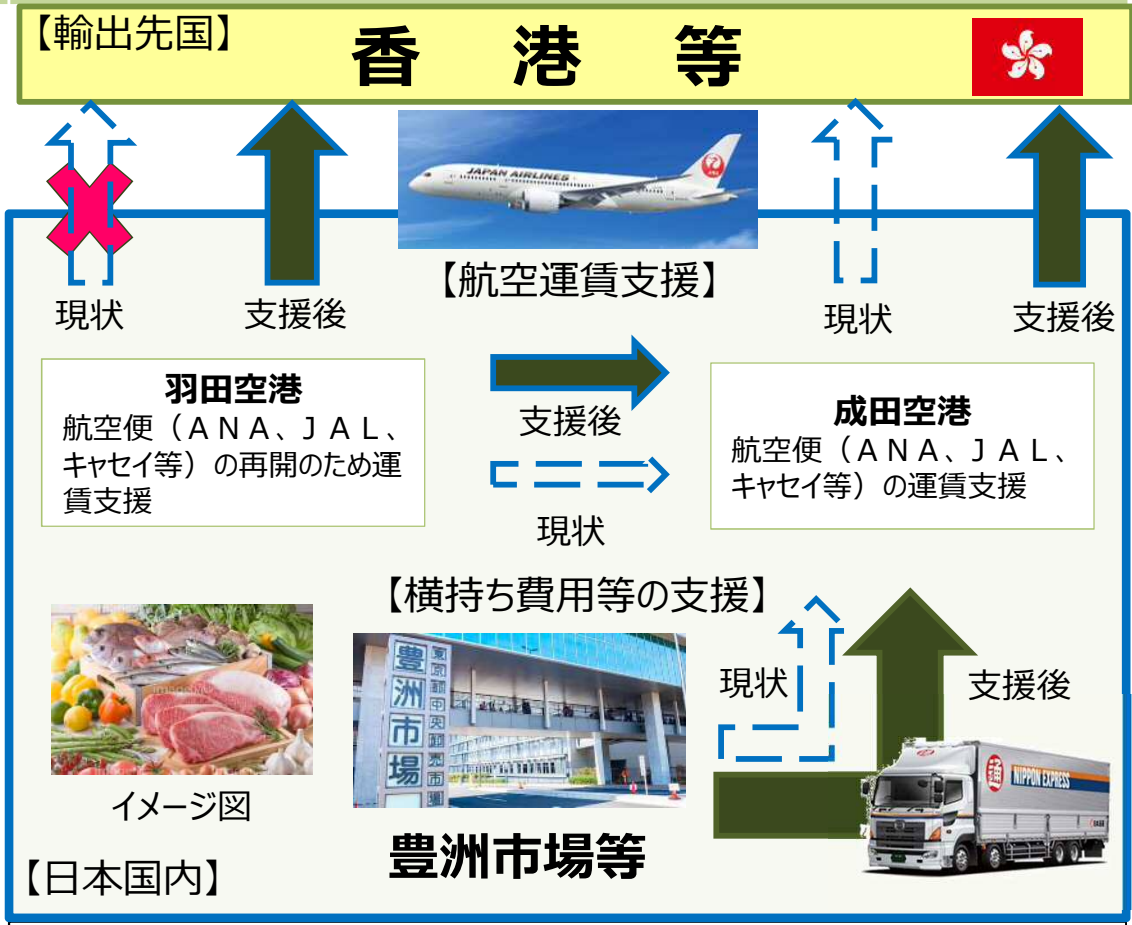
２．国内拠点空港への横持ち支援

旅客便の大幅な減便に対応するため、**国内拠点空港への横持ち費用**（掛かり増し相当分）**の一部**を支援します。

＜事業の流れ＞

国 →（定額）→ （公財）食品等流通合理化促進機構 →（定額（1/2相当））→ 航空事業者 運送事業者　等

＜事業イメージ＞



最大輸出先国の香港向け旅客便等の復便、サプライチェーンの確保

※本事業の詳細は取引のあるフォワーダーにお問合せ下さい。

［事業の制度に係るお問合せ先］食料産業局海外市場開拓・食文化課（03-6744-7172）